



平成21年11月4日

各位

会社名 サンケン電気株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 飯島貞利  
 コード番号 6707 (東証 市場第一部)  
 問合せ先 執行役員IR室長 太田 明  
 T E L (048)487-6121

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の通期業績予想につきまして、下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。また、業績回復に向けての取組みにつきましても、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期業績予想の修正

##### (1) 平成22年3月期 連結業績予想の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年8月10日発表)	百万円 141,000	百万円 800	百万円 0	百万円 0
今回修正予想(B)	133,500	△6,000	△7,400	△18,400
増減額(B-A)	△7,500	△6,800	△7,400	△18,400
増減率(%)	△5.3	—	—	—
<ご参考>前期実績 (平成21年3月期)	147,003	△4,891	△7,716	△15,773

##### (2) 平成22年3月期 個別業績予想の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年5月8日発表)	百万円 105,000	百万円 △2,200	百万円 △3,700	百万円 △3,900
今回修正予想(B)	96,600	△8,700	△9,200	△12,500
増減額(B-A)	△8,400	△6,500	△5,500	△8,600
増減率(%)	△8.0	—	—	—
<ご参考>前期実績 (平成21年3月期)	110,553	△4,730	△5,747	△9,485

##### (3) 修正の理由

下半期も回復基調で推移することが見込まれますが、各国の景気刺激策の「出口戦略」や消費需要及び為替動向など、先行きに不透明な要素も多数存在しており、引続き予断を許さない状況にあります。また、平成21年10月27日に公表の「CCFL(冷陰極蛍光放電管)事業の構造改革に伴う特別損失の発生、業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、当第2四半期決算においてCCFL生産設備の減損を実施し、97億円の特別損失を計上しております。これらを踏まえ、既に公表しております通期の連結・個別業績予想を上記の通り修正いたします。

## 2. 業績回復に向けた取組みについて

平成21年10月27日に公表の「CCFL（冷陰極蛍光放電管）事業の構造改革に伴う特別損失の発生、業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、当社グループでは、CCFL事業の早期再生を図るための構造改革を実施しております。また、LEDや省エネ対応の半導体デバイスといった、成長を見込むエコ関連製品につきましては、積極的に設備投資を実施してまいります。加えて、以下の取組みにも注力することで、当社グループは早期の業績回復を図ってまいります。

### (1) 当社新座工場から山形サンケン㈱への生産移管

当社新座工場のダイオードチップ製造につきましては、同工場の老朽化等の理由から、山形サンケン㈱（100%子会社、以下「山形サンケン」）に生産移管することとし、移管後は新座工場の閉鎖を計画しております。山形サンケンに国内でのチップ生産を集約することで、重複する管理構造を排除し固定費削減を図るとともに、生産効率化によるコスト削減も図ってまいります。

- ① 効果 平成22年10月以降、年間5億円の当社固定費の削減、及び山形サンケンへの生産集約による5.6%のチップ生産コストの削減を見込んでおります。
- ② 移管完了時期 平成22年9月末

### (2) Allegro MicroSystems, Inc.から Polar Semiconductor, Inc.への生産移管

Allegro MicroSystems, Inc.（在米国100%子会社）ウースター工場のウェーハ製造ライン（6インチ・1ミクロン）を閉鎖し、その生産をPolar Semiconductor, Inc.（在米国100%子会社）に移管することを計画しております。これにより、Polar Semiconductor, Inc.のウェーハ製造ライン（8インチ・0.35ミクロン）を有効活用し、生産の効率化を進めるとともに、労務費・修繕費・減価償却費等の固定費削減も図ってまいります。

- ① 効果 平成24年度以降、年間約18百万米ドルの固定費削減を見込んでおります。
- ② 移管完了時期 平成24年3月末

### (3) サンケントランスフォーマー㈱の吸収合併

当社は、経営資源の集中と効率化を目的に、本年10月1日付でサンケントランスフォーマー㈱（100%出資子会社、以下「SKT」）を吸収合併いたしました。これにより、間接人員の圧縮など、年間1億円の固定費削減を見込んでおります。また、当社の電源IC技術及びPM技術とのシナジー発揮により、SKTから承継した高周波トランスビジネスの拡大を図ってまいります。

### (4) 三壘電気（上海）有限公司 深圳分公司 の設立

回復著しい中国市場への取組みを強化すべく、本年10月、中国深圳市に「三壘電気（上海）有限公司 深圳分公司」を設立いたしました。既存顧客及び潜在顧客が集中する中国華南地区に拠点を設置することで、効果的な技術サポートと営業活動を実現し、顧客密着による売上拡大を図ってまいります。

- 【拠点概要】 名称：三壘電気（上海）有限公司 深圳分公司  
Sanken Electric (Shanghai) Co., Ltd. Shenzhen Office  
所在地：中国広東省深圳市福田区深南大道与民田路交界西南  
新華保險大厦 1013 室  
代表者：久城吉成（三壘電気（上海）有限公司 董事長）  
従業員数：設立時 11 名（将来計画 15 名）

以上

※ 上記の予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。